

日時・場所	令和5年3月27日(月)9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、遠藤議会事務局長、赤坂政策調整部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、布施健康福祉部政策監、山本病院事務部次長、三上都市建設部長、吉川環境経済部長、馬野教育部長、事務局

1. 開会

【市長挨拶】

○本日は、本年度最後の部長会議になるので、この1年を振り返ってみたいと思う。

まず、新病院の整備関係について、昨年5月18日に総合体育館の温水プール跡地に整備する意向を表明させていただいて以降、市議会の6月定例会、8月臨時会での議論を経て、12月定例会では、整備場所での準備工事や委託業務などに係る債務負担、さらには、野洲駅南口での施設整備の支援業務委託の債務負担行為補正予算を提案し、賛成多数で可決いただいた。

10年余り、紆余曲折を繰り返して来た新病院整備に向けた道筋が開き、併せて駅前南口の賑わい創出の事業化を進めるきっかけも作ることができた。

そのほか、市政運営の最優先課題と位置づけて取り組んできた新型コロナウイルス感染症対策については、様々な施策を講じるなかで、本年5月8日からは「2類相当」から「5類」に移行することとなった。

また、(仮称)滋賀県立高等専門学校については、市内の関係団体や企業などの組織力の結集により、昨年9月20日に建設地を市三宅地先の県有地に決定していただき、令和10年度の開校に向けて、県や国との連携を深めながら諸準備を進めることとなった。

『ふるさと納税制度』については、本年度は、令和3年度をはるかに上回る多額のご寄附を受けることができ、順調に寄附額が延びている。本年度は、16億円に近い額が見込まれている。

そのほか、小学6年生までの福祉医療の拡充、小規模保育所の開設による待機児童の解消、国道8号や大津湖南幹線をはじめ集落道の整備、令和7年度の国民スポーツ大会等の諸準備、文化遺産である永原御殿の保存、学校施設の改築・改修、行財政改革の推進など、日常業務の中で、数え上げれば切りがないほど職員の皆さまにご尽力いただいた。

一方で、昨年6月30日にハラスメントに認定された私の職員に対する一連の言動については、市職員をはじめ市民の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をおかけした。

これら1年間の市政運営に当たっては、出席の幹部職員はもとより、職員の適正な判断や決断により遂行できたものと、感謝の気持ちでいっぱいである。

そして、同時にこの間、私にお寄せいただいた期待の重さも痛感したところである。改めて、職員との信頼を築きながら、職務に精励しなければならないと痛感しているところである。最後に、去る24日に閉会した市議会の第2回定例会については、新年度予算を審議する重要な議会で、皆さま方には何かとご苦勞をおかけしたと思うが、最終日には、新病院を総合体育館東側市有地で整備を進めるために必要な極めて重要な予算や、野洲駅南口での複合商業施設整備の関連予算をはじめ、重要案件全ての承認を得ることができた。

これで、名実ともに、駅前南口の整備もセットにした新病院の整備が、本市のほぼ中央の最適地で本格的に動き出した。今後は、令和8年度中の開院に向けて精力的に作業を進めていきたいと考えている。

しかし、残念なことに議会の最終日に追加提案した令和5年度補正予算の中には、既に債務負担の予算議決を得ている案件があった。これは、当初予算の計上漏れである。

また、定例会の議案の条例改正でも、いわゆる単純ミスが発見され、議会に訂正をお願いする場面もあった。

個人のミスは誰にでも起こり得るものだが、組織としては全く言い訳のしようのないものであり、十分なチェックシステムが機能していなかったという課題が浮き彫りになった。
今回のケースを教訓として、どうしたらこのようなミスが防止できるのか、早急に部内のチェック体制やシステムの見直しの検討をお願いする。

以上、年度末に当たり、指示事項を兼ね、私からの御礼のあいさつとさせていただきます。

2. 議題

(案件なし)

3. 次回部長会議の予定

4月3日(月) 10時00分～ 庁議室

4. 閉会